

4

一、つぎの「一」の なかから、つづきぐあいの よい ものを 一つ えらんで、□に ○ を つけなさい。

一 みちこさんは とても おくびょうで、

おどけ
ようじん
ようい
しんせつ
ぶかい。

二 おかあさんは、ためいきを

はいて
すって
ついで
かんで
ばかり います。

二、つぎの 文の なかから、かたかなで 書く ことばを 一つ みつけて、
の なかに カタカナで 書きなさい。

(れい) おとうさんは、あめりにか いった ことが あります。……

アメリカ

一 つめたい 北風が、びゅうびゅう おどを たてて ふきつめます。

二 おじさんに 買って もらった、あてるせん の どうわは、とても おもしろい。

三、つぎの それぞれの 文の □ に あてはまる ことばを、下の □ の なか
から 一つずつ えらんで 書きなさい。

(れい) おこづかいを、すっかり つかって しまいました。

一 森の なかから、さけび声が きこえました。

二 もう、食べものを 見るだけで、うんざり します。

三 青い 鳥は、どこに いるのかなあ。

すっかり
きびしい
すてい
うんざり
きつと

- 9 -

5

一、れいに ならって、それぞれの 文の □ に 一つだけ ○ を つけなさい。

一 「なにが」に あたる ことばは どれですか。

(れい) 大きな しやぼんだが、とんだ。

むぎわらぼうしを かぶった おとうさんが、はたらいて います。

二 「うする」に あたる ことばは どれですか。

(れい) 牛が くさを たべます。

夏に なるど、おおぜいの 人が ここで およぎます。

三 □ の ことばを くわしく いて いる ことばは、どれですか。

(れい) みかんが、たくさん なりました。

あかい ばらの 花が、きれいに さきました。

二、つぎの 文しやうを よんで、下の もんだいに こたえなさい。

六月八日 はれ

「ひなが 生まれて いるよ。」

と、おとうさんが いったので、すばこ

を のぞくと、二わの ひなが、ピヨピ

ヨと からだを ふるわせて いました。

ふわふわした 白い はねと、だいた

い色の くらげしが、とても かわいい

とおもいました。

六月十二日 くもり

ひなの くらげしが、とがって きま

一 この につきは、なにを かんきつした
ものですか。よい ものを 一つ えらん
で、□に ○ を つけなさい。

ひなが、生まれた ときの ようす。

ひなの かわいらしい ようす。

おや鳥が、ひなを かばって いる
ようす。

ひなが、そだって いく ようす。

二 書かれて いる じゆんじよが 正し
い ものは どれですか。それぞれ 一
つ えらび、□に ○ を つけなさい。

- 11 -

- 10 -